

2012年2月6日

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟 御中

「民間ユネスコ運動 改革への3つのアジェンダ(案)」に対する意見

全国的青年連絡組織
会長 松浦 慎

① アジェンダ(案)に対する見解を述べるにあたり

機関誌ユネスコ等で発表されている「民間ユネスコ運動 改革への3つのアジェンダ(案)」について、現在の日本ユネスコ協会連盟（以下、日ユ協連）及び民間ユネスコ運動を取り巻く環境において、財政面の問題解決は重要な課題であり、**具体的改善策が必要であることは理解できます。**

しかしながら、全国的青年連絡組織としては、その削減方法において今後具体的な事業の「選択と集中」が行われる中で、**青年活動にも非常に大きな影響があることを危惧している面もあります。**

2007年の民間ユネスコ運動60周年の際に発表された運動方針において、青年リーダーの育成と青少年の参画の輪を広げていくことが未来のユネスコ運動の発展に繋がっていく、と記されています。いかなる事業の「選択と集中」が行われたとしても、**持続可能なユネスコ運動のために青少年育成は欠かせないと考えます。**

したがって、全国的青年連絡組織としては、**青年関連事業は「聖域」とし、今後の青年育成のための投資**としてご配慮頂きたいと思っております。

② 当組織がまとめたアジェンダ(案)に対する意見について

次項以降で述べるアジェンダ(案)に対する意見は、当組織の執行部が中心となって作成しましたが、2012年2月5日に開催した「全国的青年連絡組織 第2回通常総会」において意見書の作成と提出を会長(松浦慎)に一任することで承認を得ております。よって、全国的青年連絡組織に登録される全青年を代表して、本意見書を提出させていただきます。

<参考> 会員数：365名(正会員360名、準会員5名)

③ アジェンダ 1 に対する意見

- 「つなげよう平和の心」という運動方針(民間ユネスコ運動 60 周年時に発表)は、アジェンダ 1 作成において、どのように扱われたか。
- 文中において脈絡が感じられず唐突に出てきている文言が 2 点あり、理解できない。
 - － 「教育の格差をなくす」「危機にある自然と文化を守る」という二つの使命を前面に押し出し
 - － 未来を担う子どもと女性の直面する課題を解決するための具体的な目標を立てる
- 改めて、日ユ協連としての「ユネスコ運動の使命と具体的な活動目標」をはっきりと示してほしい。

④ アジェンダ 2 に対する意見

- そもそも日ユ協連と地域ユ協の役割が異なることは自明なことであるが、改めて明記する必要性は感じられず、「アジェンダ 2」は不要であると考ええる。

⑤ アジェンダ 3 に対する意見

- 「財政の独立」とは何か。具体的にどのような状態を指すのか明示されていない。

⑥ アジェンダ(案)全体に対する意見

- 以前から財政面での深刻な問題は垣間見えたが、なぜこれまで対処してこなかったのか。また、この責任の所在はどこにあると考えるか明示することが必要であると考ええる。
- この赤字問題の総括・反省がなされていない。このままでは再び同じ問題が起こりうると危惧する。
- アジェンダ(案)は理念しか読み取れず、具体性が感じられない。着地点はどこなのか、また何をもって 3 年後の評価とするか明示するべきである。

- アジェンダ(案)を元に「選択と集中」が実行された場合の会員離れを危惧する。
- 会費の見直し(値上げ)も検討の余地があるのではないか。
- 地域ユ協で活動されている方の現状や、声をもっと取り入れるべきである。
- 東日本大震災による寄付(募金)は突発的事象によるもので、恒常的な財源とはなり得ない。かつ、それをビジネスモデルとして評価することは見通しが甘すぎると考える。

以上